

元日や家にゆづりの太刀はかん

明けましておめでとうございます。年が改まるとは、何がなし心清々しく晴れやかな気分になるものです。

さて、一昨年から続くコロナ禍によって、昨年も全国大会や研修会・講習会を中止せざるを得ず、会員諸氏には物足りない一年であったと推察しております。

しかし、国民の八割近いワクチン接種率の効果もあり、感染状況も落ち着きつつあります。勿論油断はできませんが、感染対策をきっちり行い、十分の気配りによって稽古は粛々と進んでいます。

三代宗家最高師範も、心身ともに浩気十分で、新たなる構想も胸にあり、連盟と致しましても、可能な限り行事も旧に復しつつ、更なる高みを目指したいとの意欲に燃えています。

「元日や家にゆづりの太刀帯（ルビ はか）ン」というのは、松尾芭蕉の高弟である向井去来の句です。去来は武家の出で、剛直純情の士でした。俳句に打ち込みだしてから、こういう心境で元旦には家伝の太刀を佩き、庭訓を新たにしていたのです。会員諸氏におかれては、流祖による和道流創流の理念と悲願に思いを新たに、稽古に励んで戴きたいと念願しております。

令和四年元旦

和道流空手道連盟会長 三代宗家 最高師範 大塚博紀
和道流空手道連盟理事長 坂巻明